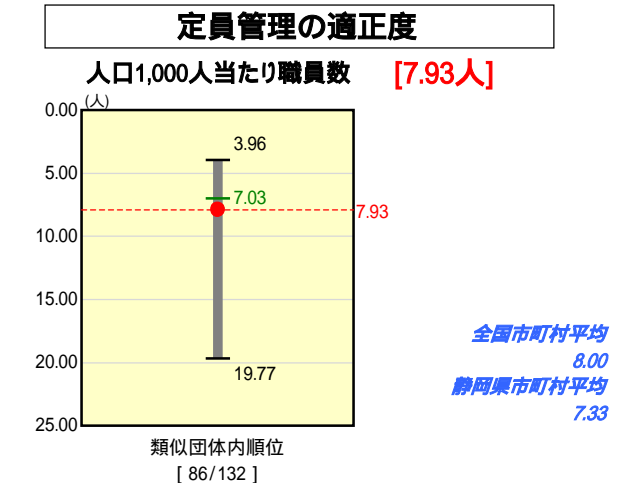
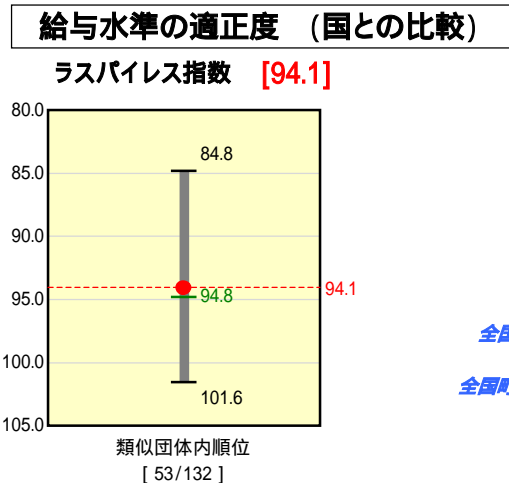
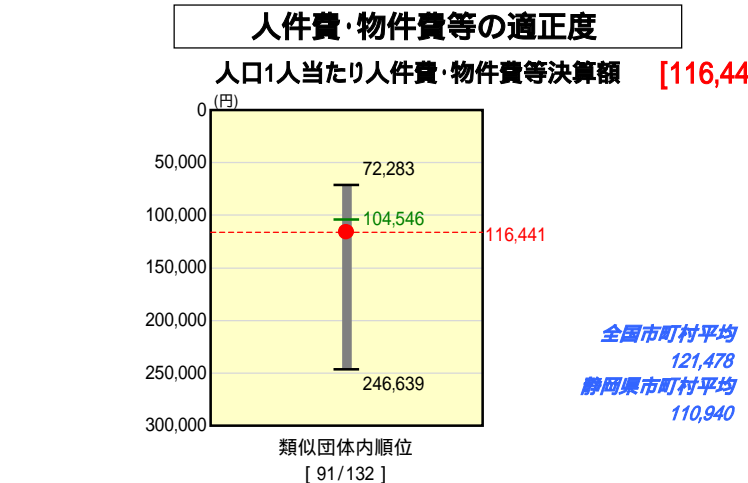
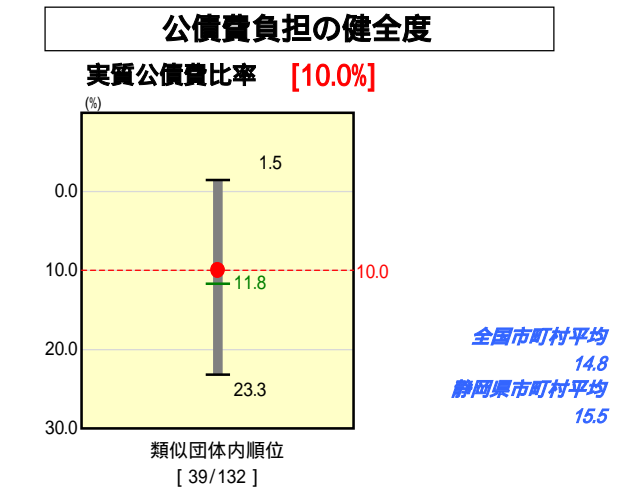
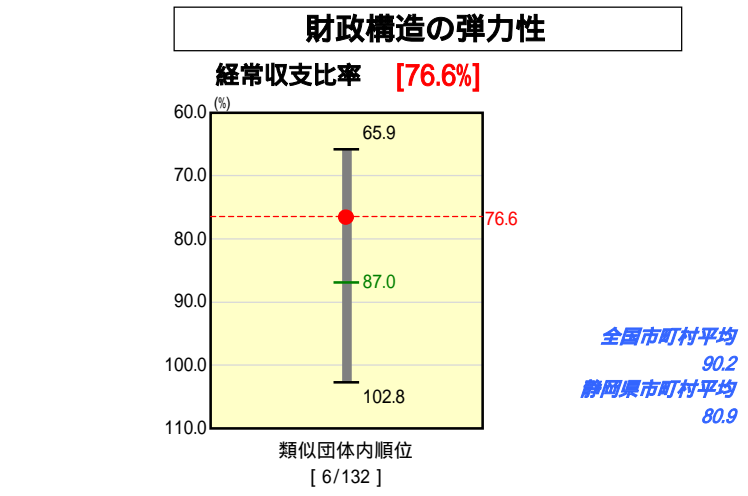
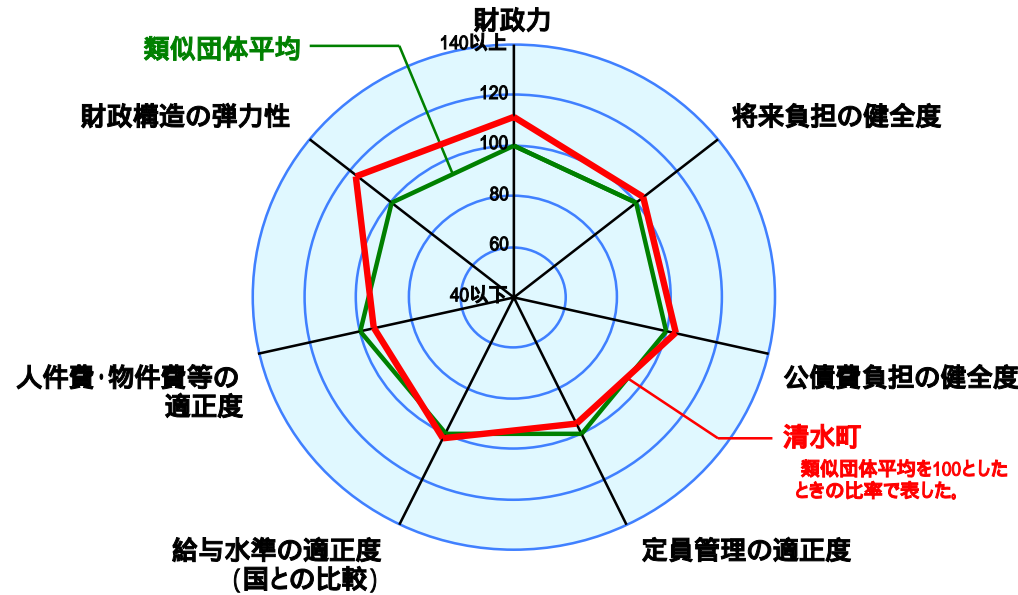
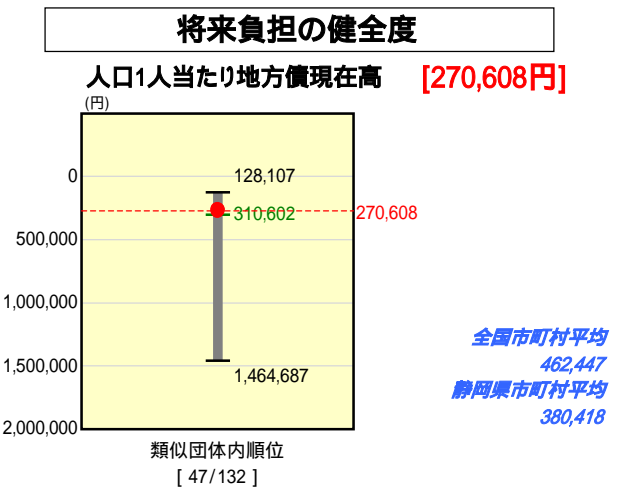
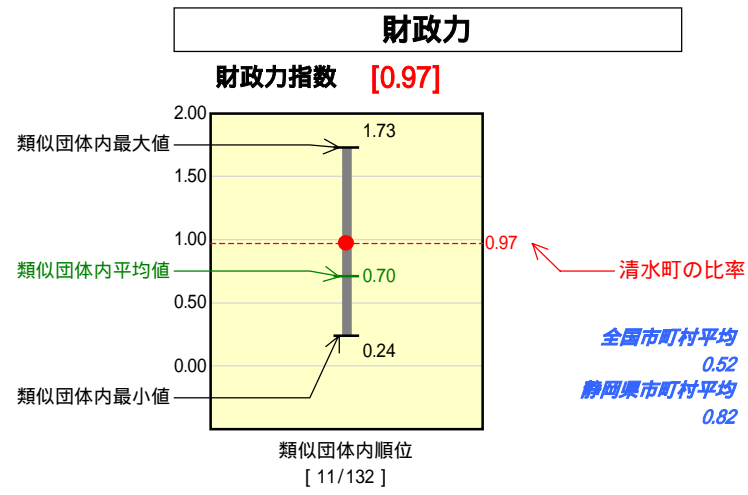


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

静岡県 清水町

人口	31,531人	(H18.3.31現在)
面積	8.84	km ²
歳入総額	8,713,940	千円
歳出総額	8,327,396	千円
実質収支	382,312	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
交付税制度改革の影響や景気回復による法人町民税の増加により、ここ4年間で連続した伸びを見せ0.97となっている。定員管理(5年間で4.8%減)などによる歳出削減を実施するとともに、徴収事務の強化や未利用遊休地の処分などの歳入確保を行い、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率
扶助費、公債費及び繰入金が増加する一方で、退職職員の不補充により人件費が減少したため、前年度と同ポイントとなっている。類似団体平均を下回っているものの、ここ数年上昇傾向にあるため、行財政改革への取り組みを通じて義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持する。

ラスパイレズ指数
特別昇給の停止や昇格の抑制により、類似団体平均を下回る指数となっている。今後においても、従来どおり人事院勧告に基づき給与改正を行い、給与の適正化に努める。

実質公債費比率
大規模建設事業の適切な取捨選択の結果、類似団体平均を下回っている。今後においても、緊急度及び必要性を十分検討した上で事業の取捨選択を行い、起債の新規発行額を抑制することにより、公債費負担の健全化に努める。

人口1人当たり地方債現在高
本年度は、防災センター建設などの大規模建設事業があったため上昇したものの、現在のところ類似団体平均を下回っている。今後とも、緊急度及び必要性を十分検討した上で事業の取捨選択を行い、起債の新規発行額を抑制することにより、将来負担の健全化に努める。

人口1,000人当たり職員数
常備消防を町が設置している等の理由により、現在のところ類似団体平均を上回っているが、平成22年4月1日における町の総定員について、平成17年4月1日に対して、新地方行革指針に掲げられている4.6%減を上回る数値目標として4.8%減(13人減)程度の純減を図ることを目標としている。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体平均を上回っているのは、人口1,000人当たり職員数が類似団体平均を上回っていることから人件費が高く、また、年少人口の割合が高いことから、保育所待機児童解消のための定員外受入れによる臨時職員賃金等の物件費が高いためであり、今後とも行財政改革の取り組みを通じて、人件費や物件費等の経費の削減に努める。